

2022年2月1日～2023年1月4日までにおこなった主な変更点 ※最新の修正箇所は太字。

シート	修正内容
解説編 4	RCEP を含め、日本が締結している EPA 一覧の図表をアップデート。
実践編 取引情報フォーム 0-4	<p>1) 2023年1月2日のインドネシアでの RCEP 協定の発効を受けて、2023年1月4日時点で RCEP が発効している 13 力国※に所在する輸入者を選択した場合に、「利用できる EPA/FTA」の一覧(最大 4 つまで表示)に RCEP が表示されるようにアップデート。</p> <p>※ブルネイ、カンボジア、中国、日本、ラオス、シンガポール、タイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド 韓国、マレーシア、インドネシア <発効順></p> <p>2) 2022年11月29日のマレーシアでの CPTPP(TPP11)発効を受けて、マレーシア所在の輸入者を選択した場合に、「利用できる EPA/FTA」の一覧(最大 4 つまで表示)に CPTPP(TPP11)が表示されるようにアップデート。</p> <p>※参考 2023年1月時点での CPTPP(TPP11)発効国/未発効国 発効済:メキシコ、日本、シンガポール、ニュージーランド、カナダ、オーストラリア、ベトナム、ペルー、マレーシア<発効順> 未発効:ブルネイ、チリ<アルファベット順></p> <p>3) RCEP 協定の附属書3A(品目別規則)を HS2022 に基づき置き換えた品目別規則が 2023年1月1日から実施されることを受けて、RCEP の HS コードのバージョンが「HS2012」から「HS2022」と表示されるように変更。</p> <p>※参考: https://www.customs.go.jp/kyotsu/kokusai/gaiyou/rcep/rcep_20221221.html</p> <p>4) 2022年1月に、日タイ EPA について、付属書 2 品目別原産地規則の HS コードのバージョンが HS2002 から HS2017 に変更となったことを受けて、日タイ EPA の HS コードのバージョンが「HS2017」と表示されるように変更。</p> <p>※参考: https://www.customs.go.jp/kyotsu/kokusai/news/oshirase_thai20211105.html</p> <p>5) RCEP の税率差特別ルール対象品目(※仕向け国限定)の場合には、「当該 HS コードは RCEP の税率差特別ルール対象品目の可能性があります。JETRO の「RCEP 解説書」等をご参照の上、RCEP 原産性をご確認下さい。」とメッセージが出るように機能を追加。</p> <p>※日本からの輸出の場合、<u>税率差が発生しうる仕向け国は、中国、タイ、ベトナム、韓国、インドネシア、フィリピン</u>です。ただし、フィリピンについては、2023年1月時点で未発効のためそもそも RCEP を利用できません。</p>
実践編 3E-1,3-F1	<p>付加価値基準の判定において、完成品価格を入力しないと原産性の判定結果が表示されないよう修正。</p> <p>RVC/QVC(控除方式)の算出方法として、「非材料費からのアプローチ」のチェック項目を追加。</p>

実践編	2022年1月31日までの旧バージョンから、以下のとおり、シートの構成を変更。4-D1以降に RCEP 対応シートを追加。
4以降の全てのシート	4-A1～4-A3 EPA/FTA 等の利用しない場合の一般的な輸出書類(インボイス、パッキングリスト)
ト	4-B1 日 EU・EPA ならびに日英 EPA の原産地申告書類/インボイス/パッキングリスト作成のための入力シート
	4-B2 日 EU・EPA 「原産地に関する申告文」が記載されたインボイス
	4-B3 日英 EPA 「原産地に関する申告文」が記載されたインボイス
	4-B4 日 EU・EPA ならびに日英 EPA のパッキングリスト
	4-C1 CPTPP(TPP11) 原産地証明書/インボイス/パッキングリスト作成のための入力シート
	4-C2 CPTPP(TPP11) 原産地証明書(Certification of Origin)
	4-C3 CPTPP(TPP11) インボイス
	4-C4 CPTPP(TPP11) パッキングリスト
	4-D1 RCEP 原産品申告書/インボイス/パッキングリスト作成のための入力シート
	4-D2 RCEP 原産品申告書(Declaration of Origin)
	4-D3 RCEP インボイス
	4-D4 RCEP パッキングリスト

2021年8月の公開日～2022年1月31日までに起こった主な修正点

シート	修正内容
0-4	【取引情報フォーム】各 EPA が採用している HS コードのバージョンが表示されるよう機能を追加。
3-D1,D2,E1,E2,F1,F2	「3.原産地判定を行う輸出品の情報」の「商品名」の枠を拡大。
4-1～4-6	備考欄・Remarks の書式を修正。
4-3	Gross weight/Net weight の表記を修正。
4-2,4-3,4-4	Sender/Receiver から、より一般的な Seller/ Buyer に変更。